筑後大堰（ちくごおおぜき）

1．施設諸元

筑後大堰	筑後川水系　筑後川
	管理開始：1985 年 4 月 1 日

目　　的

洪水疎通機能の確保

筑後大堰地点の計画高水流量 9,000m³/s の疎通を図る。

河川の流水の正常な機能の維持

堰により塩水の遡上を防止し、流水の正常な機能を維持する。

新規利水

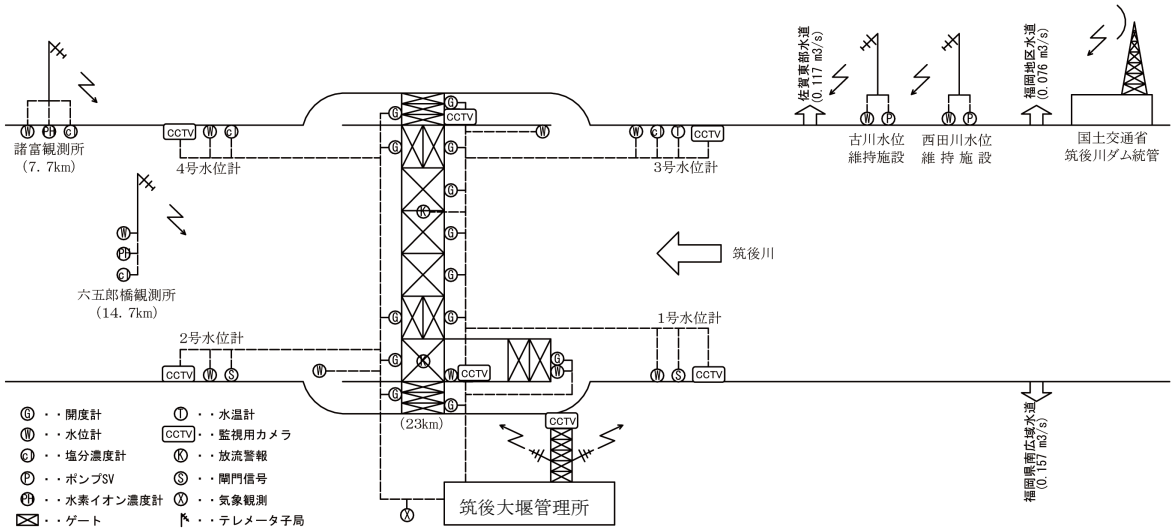
新規水道用水の確保並びに既得用水(水道、かんがい)の取水位の安定を図る。

諸　　元

河川名	筑後川水系　筑後川
位置	右岸　佐賀県三養基郡みやき町大字江口
	左岸　福岡県久留米市安武町大字武島
型式	可動堰
総延長	約 501 m
可動部	約 261 m
固定部	約 240 m
放流設備	制水ゲート　3 門
	調節ゲート　2 門
	閘門　延長　13.60 m　長さ　23.0 m
	魚道　中央呼び水水路型階段式

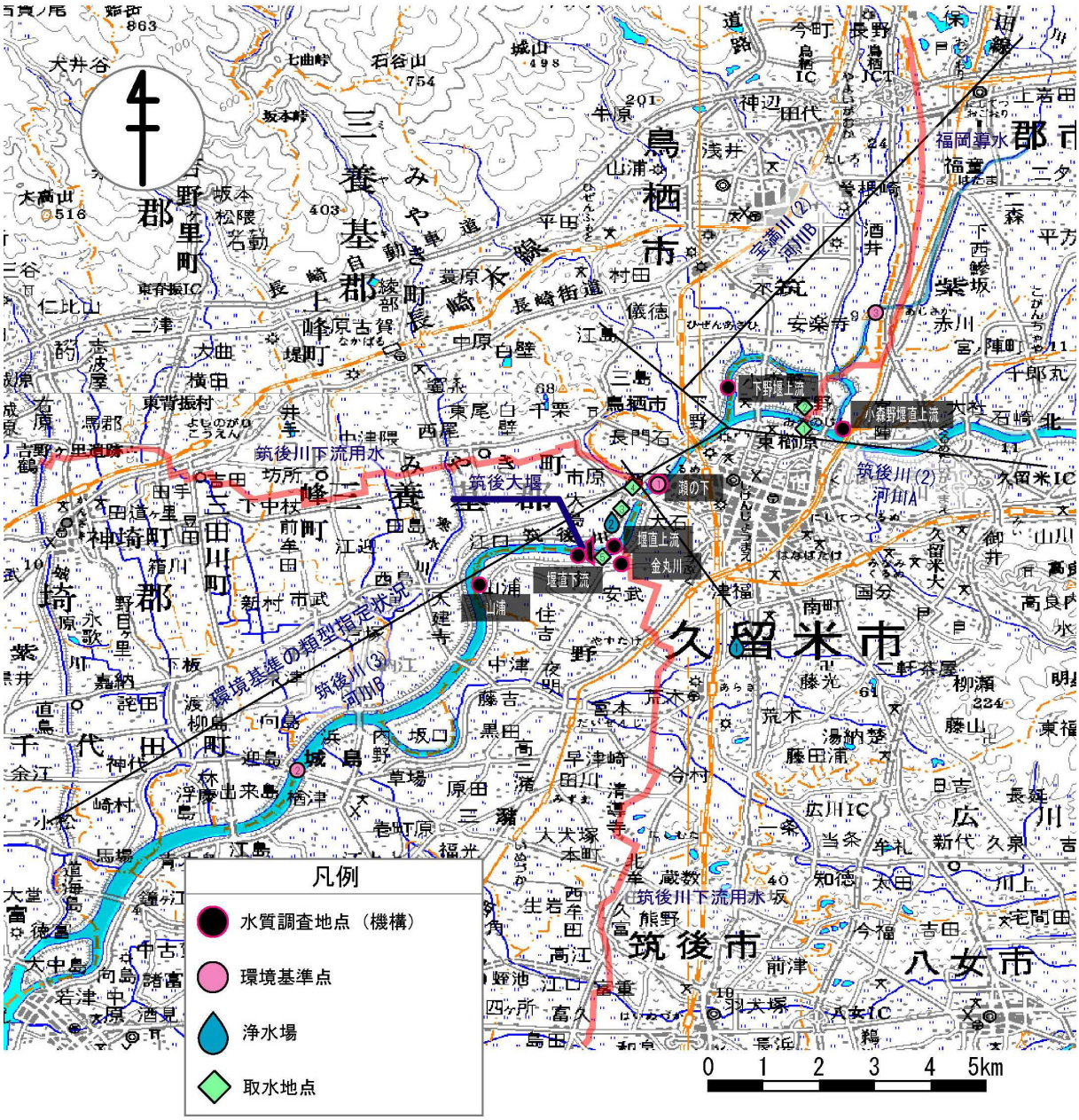
流域面積	2,315 km²
湛水面積	1.36 km²
平常時最高貯水位	T.P. +3.15 m
計画高水位	T.P. +9.56 m
最低水位	T.P. +2.44 m
総貯水量	5,500,000 m³
有効貯水量	930,000 m³

施設模式図



２．水質基本情報

（１）水質基本情報図



（２）主な取水状況

取水地点	浄水場地　点	取　水　者　情　報		取　水　地　点	使用用途
1	1	福岡県南広域水道企業団	荒木浄水場	筑後川左岸（久留米市）	水道用水
2		佐賀東部水道企業団	基山浄水場	筑後川右岸（久留米市）（福岡導水 導水路）	水道用水
2		福岡地区水道企業団	牛頸浄水場	筑後川右岸（久留米市）（福岡導水 導水路）	水道用水
3	2	佐賀東部水道企業団	北茂安浄水場	筑後川右岸（みやき町）	水道用水
4		筑後川下流用水		筑後川右岸（みやき町）	農業用水
5		〃		筑後川左岸（久留米市）	農業用水

＊４、５を除き筑後大堰利水者

（３）環境基準地点

	水　　域	地　点　名　称	該　当　類　型	機構測定地点
1	筑後川（２），筑後川下流	瀬ノ下	河川Ａ、河川生物Ｂ	
2	筑後川（３），筑後川下流	六五郎橋	河川Ｂ、河川生物Ｂ	

（４）環境基準類型指定（2022 年 4 月）

筑後大堰の湛水域にある豆津橋上流が筑後川（２）、豆津橋下流が筑後川（３）に該当する。

筑後川（２）は河川Ａ類型、筑後川（３）は河川Ｂ類型、また、水生生物については豆津橋上下流とも，筑後川下流に該当し、河川生物Ｂ類型に指定されている。

１）筑後川（２）：松原ダムから豆津橋まで　，筑後川下流

環境基準類型区分	類型指定年	項目及び基準値				
河川Ａ	昭和４８年	ｐＨ	ＢＯＤ	ＳＳ	ＤＯ	大腸菌数
		6.5 以上 8.5 以下	2mg/L 以下	25mg/L 以下	7.5mg/L 以上	300CFU /100ml 以下
河川生物Ｂ	平成２２年	全亜鉛	ノニルフェノール	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩		
		0.03mg/L 以下	0.002mg/L 以下	0.05mg/L 以下		

２）筑後川（３）：豆津橋より下流　，筑後川下流

<table>
<tr><th>環境基準
類型区分</th><th>類型指定年</th><th colspan="5">項目及び基準値</th></tr>
<tr><td rowspan="2">河川Ｂ</td><td rowspan="2">昭和４８年</td><td>ｐＨ</td><td>ＢＯＤ</td><td>ＳＳ</td><td>ＤＯ</td><td>大腸菌数</td></tr>
<tr><td>6.5 以上
8.5 以下</td><td>3mg/L
以下</td><td>25mg/L
以下※</td><td>5mg/L
以上</td><td>1000CFU
/100ml 以下</td></tr>
<tr><td rowspan="2">河川生物
Ｂ</td><td rowspan="2">平成２２年</td><td>全亜鉛</td><td>ノニル
フェノール</td><td>直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩</td><td colspan="2" rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>0.03mg/L
以下</td><td>0.002mg/L
以下</td><td>0.05mg/L
以下</td></tr>
</table>

※：感潮区間（筑後大堰より下流）の SS については、自然汚濁の現況にかんがみ B 類型の基準値は適用せず、E 類型相当（ごみ等の浮遊が認められないこと）を基準とする。

3. 水質調査の実施状況

(1)2022 年　調査実施状況（項目、測定地点、測定回数）

（年測定回数：回）

	調　査　項　目	堰上流		堰直上流	堰直下流	堰下流	
		St.1	St.5	St.2	St.6		
		小森野堰直上流	下野堰上流	堰直上流	堰直下流	金丸川	山浦
生活環境項目など	透視度	12	12	12	12	12	12
	透明度	12	12	12	12		12
	水色	12	12	12	12	12	12
	臭気	12	12	12	12	12	12
	水温	12※	12※	12※	12※	12※	12※
	濁度	12※	12※	12※	12※	12※	12※
	溶存酸素（DO）	12※	12※	12※	12※	12※	12※
	水素イオン濃度（pH）	12※	12※	12※	12※	12※	12※
	生物化学的酸素要求量(BOD)	12	12	12＊[2]	12＊[2]	12	12＊[2]
	化学的酸素要求量(COD)	12	12	12＊[2]	12＊[2]	12	12＊[2]
	浮遊懸濁物（SS）	12	12	12＊[2]	12＊[2]	12	12＊[2]
	大腸菌群数	3	3	3＊[2]	3＊[2]	3	3＊[2]
	大腸菌数	12	12	12＊[2]	12＊[2]	12	12＊[2]
	全窒素	12	12	12＊[2]	12＊[2]	12	12＊[2]
	アンモニア性窒素	12	12	12＊[2]	12＊[2]	12	12＊[2]
	亜硝酸性窒素	12	12	12＊[2]	12＊[2]	12	12＊[2]
	硝酸性窒素	12	12	12＊[2]	12＊[2]	12	12＊[2]
	全りん	12	12	12＊[2]	12＊[2]	12	12＊[2]
	オルトリン酸態リン	12	12	12＊[2]	12＊[2]	12	12＊[2]
	クロロフィル a	12	12	12＊[2]	12＊[2]		12＊[2]
	トリハロメタン生成能	4	4	4			
	2-MIB	4	4	4			
	ジェオスミン	4	4	4			
	フェオフィチン a	4	4	4			
	電気伝導度	12※	12※	12※			
	塩化物イオン			12※	12※	12※	12※
	全亜鉛			12＊[1]			
	ノニルフェノール			12＊[1]			
	直鎖アルキベンゼンスルホン酸及びその塩（LAS）			12＊[1]			
底質	強熱減量			2		2	2
	化学的酸素要求量（COD）			2		2	2
	全窒素			2		2	2
	全りん			2		2	2
	硫化物			2		2	2
	粒度組成			2		2	2
生物	植物プランクトン	12	12	12	12＊[2]		12＊[2]

備　考　堰直下流、金丸川および山浦は、干潮時・満潮時の 1 日 2 回測定
・生活環境項目など　①12 回：毎月測定　②4 回：5 月、7 月、9 月、11 月測定
・底質項目　2 回：2 月、8 月測定　・生物　12 回：毎月測定
＊[1]：2 水深測定項目（上層、下層）　＊[2]：3 水深測定項目（上層、中層、下層）
※：計器測定項目（多水深測定）

４．２０２２年　水質の概況

（１）施設全体の水質の概況

2022 年の筑後大堰の水質状況は、3 月に植物プランクトンが一時的に増殖したことにより、St.2 の表層でクロロフィル a が 142μg/m³、St.6 表層（満潮時）で 144μg/m³を記録した。高い値を記録したのは 2021 年 4 月に続いた。その後の流況が改善した影響もあり、継続的に増加または減少する傾向はなく、例年と同程度であった。

年平均値または年間 75%値を環境基準値と比較すると、St.6 直下流の BOD を除き環境基準値の範囲内であった。

（２）地点ごとの水質の状況

１）St.2 堰直上流

2022 年の経月変化を過去 5 年平均と比較すると、1 月から 5 月にかけて塩化物イオンが増加したほか 2 月から 5 月にかけて BOD、クロロフィル、pH、COD、DO が増加した。その他の月は多少の変動はあるものの概ね 5 年平均と同程度の値で推移した。

2022 年の年平均値または年間 75%値の経年変化は、年ごとに変動はあるが、継続的に増加または減少する傾向はなく、ほぼ横ばい傾向であった。環境基準値が設定されている項目について年平均値と環境基準値を比較すると、環境基準値の範囲内であった。

２）St.6 堰直下流

2022 年の経月変化を過去 5 年平均と比較すると、2 月から 5 月にかけて BOD、クロロフィル、pH、COD、DO、塩化物イオンが増加したほか、7 月をのぞき濁度が減少した。その他の月は多少の変動はあるものの概ね 5 年平均と同程度の値で推移した。

2022 年の年平均値または年間 75%値の経年変化は、年ごとに変動はあるが、継続的に増加または減少する傾向はなく、ほぼ横ばい傾向であった。環境基準値が設定されている項目について年平均値と環境基準値を比較すると、St.6 直下流の BOD を除き環境基準値の範囲内であった。

5. 2022年　水質調査結果

(1)一般項目、生活環境項目、富栄養化関連項目

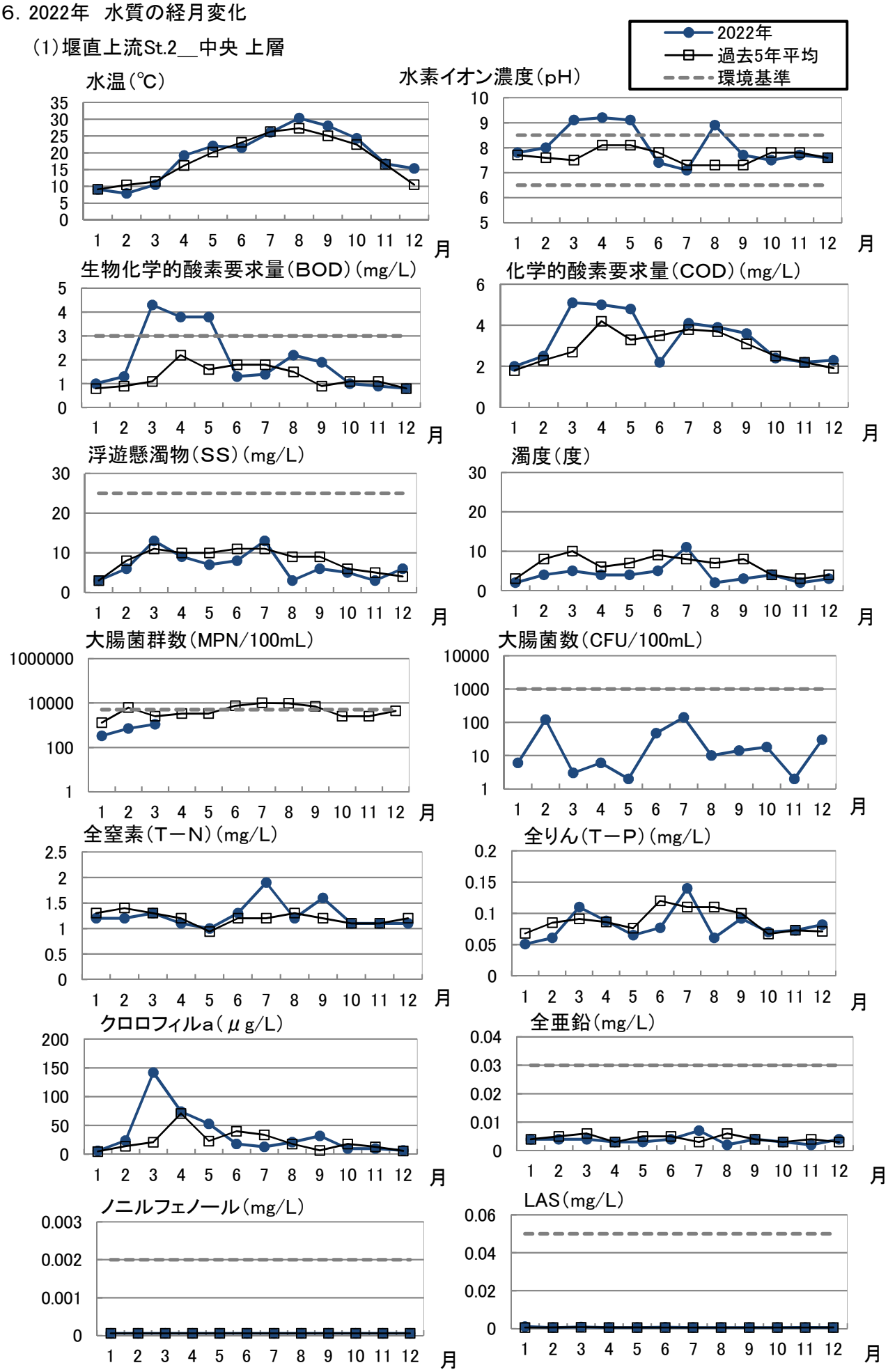
測定項目	地点名	基準値	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	最小	最大	平均	m/n
水温	堰直上流St.2__中央 上層	－	9.1	7.9	10.5	19.2	22.0	21.5	26.1	30.3	28.0	24.3	16.7	15.3	7.9	30.3	19.2	－
(℃)	堰直下流St.6__流心 上層 干潮時	－	9.0	8.0	10.6	19.2	21.4	21.7	26.0	29.7	28.0	24.3	16.4	15.2	8.0	29.7	19.1	－
	堰直下流St.6__流心 上層 満潮時	－	9.1	8.3	11.2	18.3	22.1	22.2	27.0	31.1	28.4	24.7	17.3	15.1	8.3	31.1	19.6	－
水素イオン濃度(pH)	堰直上流St.2__中央 上層	6.5～8.5	7.8	8.0	9.1	9.2	9.1	7.4	7.1	8.9	7.7	7.5	7.7	7.6	7.1	9.2	8.1	4/12
	堰直下流St.6__流心 上層 干潮時	6.5～8.5	7.8	7.9	9.1	9.0	8.6	7.2	7.1	8.5	7.7	7.4	7.8	7.6	7.1	9.1	8.0	3/12
	堰直下流St.6__流心 上層 満潮時	6.5～8.5	7.9	8.1	9.3	9.1	8.8	7.5	7.2	8.9	8.3	7.6	7.9	7.7	7.2	9.3	8.2	4/12
生物化学的酸素要求量	堰直上流St.2__中央 上層	3	1.0	1.3	4.3	3.8	3.8	1.3	1.4	2.2	1.9	1.0	0.9	0.8	0.8	4.3	2.0	○
(BOD)	堰直下流St.6__流心 上層 干潮時	3	1.5	1.9	4.6	4.6	3.1	1.5	1.2	2.0	2.1	1.3	1.3	0.8	0.8	4.6	2.2	○
(mg/l)	堰直下流St.6__流心 上層 満潮時	3	1.2	1.7	4.8	4.2	4.6	1.6	1.7	3.9	2.9	1.3	1.6	1.1	1.1	4.8	2.6	×
化学的酸素要求量	堰直上流St.2__中央 上層	－	2.0	2.5	5.1	5.0	4.8	2.2	4.1	3.9	3.6	2.4	2.2	2.3	2.0	5.1	3.3	－
(COD)	堰直下流St.6__流心 上層 干潮時	－	2.4	2.7	5.4	5.7	4.6	2.3	4.0	4.0	3.7	2.5	2.3	2.5	2.3	5.7	3.5	－
(mg/l)	堰直下流St.6__流心 上層 満潮時	－	2.0	2.6	5.9	5.3	5.3	2.2	4.0	5.4	4.5	2.6	2.4	2.6	2.0	5.9	3.7	－
浮遊懸濁物(SS)	堰直上流St.2__中央 上層	25	3	6	13	9	7	8	13	3	6	5	3	6	3	13	7	0/12
(mg/l)	堰直下流St.6__流心 上層 干潮時	－	3	7	13	10	9	12	14	5	6	6	4	5	3	14	8	－
	堰直下流St.6__流心 上層 満潮時	－	3	6	16	11	10	9	13	11	7	7	4	5	3	16	9	－
濁度	堰直上流St.2__中央 上層	－	2	4	5	4	4	5	11	2	3	4	2	3	2	11	4	－
(度)	堰直下流St.6__流心 上層 干潮時	－	2	4	5	4	4	6	10	3	4	4	2	3	2	10	4	－
	堰直下流St.6__流心 上層 満潮時	－	3	3	5	4	4	5	10	4	3	4	2	3	2	10	4	－
溶存酸素(DO)	堰直上流St.2__中央 上層	5	11.0	12.0	16.0	18.0	15.0	8.4	7.8	11.0	9.4	8.8	10.0	9.3	7.8	18.0	11.0	0/12
(mg/l)	堰直上流St.2__中央 中層	5	11.0	12.0	16.0	15.0	13.0	8.2	7.7	10.0	9.3	8.8	10.0	9.3	7.7	16.0	11.0	0/12
	堰直上流St.2__中央 下層	5	11.0	12.0	16.0	15.0	10.0	8.0	7.7	8.6	9.3	8.8	10.0	9.3	7.7	16.0	10.0	0/12
	堰直下流St.6__流心 上層 干潮時	5	11.0	12.0	14.0	14.0	11.0	8.0	7.6	8.6	8.9	8.7	10.0	9.8	7.6	14.0	10.0	0/12
	堰直下流St.6__流心 中層 干潮時	5	11.0	12.0	14.0	15.0	11.0	8.0	7.6	8.6	8.9	8.7	10.0	9.8	7.6	15.0	10.0	0/12
	堰直下流St.6__流心 下層 干潮時	5	11.0	12.0	14.0	15.0	11.0	8.0	7.6	8.6	8.9	8.7	10.0	9.8	7.6	15.0	10.0	0/12
	堰直下流St.6__流心 上層 満潮時	5	12.0	12.0	17.0	14.0	14.0	9.0	8.3	12.0	10.0	9.1	10.0	9.9	8.3	17.0	11.0	0/12
	堰直下流St.6__流心 中層 満潮時	5	12.0	12.0	17.0	14.0	13.0	9.0	8.1	11.0	10.0	9.1	10.0	9.9	8.1	17.0	11.0	0/12
	堰直下流St.6__流心 下層 満潮時	5	12.0	12.0	17.0	14.0	12.0	9.0	8.0	9.4	10.0	9.1	10.0	9.9	8.0	17.0	11.0	0/12
大腸菌群数	堰直上流St.2__中央 上層	5000	330	700	1100	－	－	－	－	－	－	－	－	－	330	1100	710	0/3
(MPN/100ml)	堰直下流St.6__流心 上層 干潮時	5000	330	490	490	－	－	－	－	－	－	－	－	－	330	490	440	0/3
	堰直下流St.6__流心 上層 満潮時	5000	490	330	330	－	－	－	－	－	－	－	－	－	330	490	380	0/3
大腸菌数	堰直上流St.2__中央 上層	1000	6	120	3	6	2	47	140	10	14	18	2	30	2	140	33	○
(CFU/100ml)	堰直下流St.6__流心 上層 干潮時	1000	2	180	8	53	9	120	220	4	29	22	3	22	2	220	56	○
	堰直下流St.6__流心 上層 満潮時	1000	2	110	4	6	12	14	150	8	20	13	3	21	2	150	30	○
全窒素(T－N)	堰直上流St.2__中央 上層	－	1.20	1.20	1.30	1.10	1.00	1.30	1.90	1.20	1.60	1.10	1.10	1.10	1.00	1.90	1.30	－
(mg/l)	堰直下流St.6__流心 上層 干潮時	－	1.40	1.30	1.50	1.40	0.93	1.30	1.30	1.20	1.20	1.30	1.10	1.00	0.93	1.50	1.20	－
	堰直下流St.6__流心 上層 満潮時	－	1.20	1.30	1.30	1.30	1.10	1.20	1.40	1.30	1.20	1.20	0.99	1.10	0.99	1.40	1.20	－
全りん(T－P)	堰直上流St.2__中央 上層	－	0.051	0.061	0.110	0.088	0.065	0.077	0.140	0.061	0.092	0.070	0.073	0.082	0.051	0.140	0.081	－
(mg/l)	堰直下流St.6__流心 上層 干潮時	－	0.083	0.090	0.120	0.100	0.054	0.100	0.130	0.087	0.100	0.074	0.072	0.073	0.054	0.130	0.090	－
	堰直下流St.6__流心 上層 満潮時	－	0.055	0.094	0.110	0.100	0.081	0.100	0.140	0.095	0.100	0.077	0.072	0.070	0.055	0.140	0.091	－
クロロフィルa	堰直上流St.2__中央 上層	－	6	24	142	74	53	18	13	21	32	10	10	7	6	142	34	－
(μg/l)	堰直下流St.6__流心 上層 干潮時	－	7	26	136	74	62	18	13	23	32	13	11	8	7	136	35	－
	堰直下流St.6__流心 上層 満潮時	－	7	22	144	91	70	20	21	46	53	16	14	9	7	144	43	－
塩化物イオン	堰直上流St.2__中央 上層	－	13	13	13	11	10	10	8	9	10	7	10	12	7	13	11	－
(mg/l)	堰直上流St.2__中央 中層	－	13	13	13	11	9	9	8	9	10	7	10	12	7	13	10	－
	堰直上流St.2__中央 下層	－	13	13	13	11	9	9	8	9	10	7	10	12	7	13	10	－
	堰直下流St.6__流心 上層 干潮時	－	14	13	14	13	9	9	8	10	10	7	11	12	7	14	11	－
	堰直下流St.6__流心 中層 干潮時	－	13	13	14	13	9	9	8	10	10	7	11	12	7	14	11	－
	堰直下流St.6__流心 下層 干潮時	－	13	13	14	14	9	9	8	10	10	7	11	12	7	14	11	－
	堰直下流St.6__流心 上層 満潮時	－	13	14	14	12	10	9	8	10	10	7	10	12	7	14	11	－
	堰直下流St.6__流心 中層 満潮時	－	13	14	14	12	10	9	8	10	10	7	10	12	7	14	11	－
	堰直下流St.6__流心 下層 満潮時	－	13	14	14	12	10	9	8	10	10	7	10	12	7	14	11	－
全亜鉛	堰直上流St.2__中央 上層	0.03	0.004	0.004	0.004	0.003	0.003	0.004	0.007	0.002	0.004	0.003	0.002	0.004	0.002	0.007	0.004	○
(mg/l)	堰直下流St.6__流心 上層 干潮時	0.03	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	堰直下流St.6__流心 上層 満潮時	0.03	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ノニルフェノール	堰直上流St.2__中央 上層	0.002	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	0.00006	－
(mg/l)	堰直下流St.6__流心 上層 干潮時	0.002	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	堰直下流St.6__流心 上層 満潮時	0.002	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
LAS	堰直上流St.2__中央 上層	0.05	0.0011	<0.0006	0.0009	<0.0006	<0.0006	0.0008	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.0006	<0.0006	<0.0006	0.0011	0.0007	○
(mg/l)	堰直下流St.6__流心 上層 干潮時	0.05	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	堰直下流St.6__流心 上層 満潮時	0.05	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

(2)底質項目

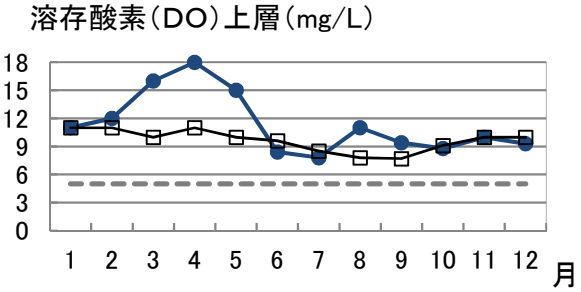
測定項目		地点名	2月	8月
強熱減量	(%)	堰直上流St.2__中央	1.7	1.7
		堰直下流St.6__流心	1.6	1.5
化学的酸素要求量(COD)	(mg/g)	堰直上流St.2__中央	2.0	2.0
		堰直下流St.6__流心	0.0	1.0
全窒素(T－N)	(mg/g)	堰直上流St.2__中央	0.20	0.40
		堰直下流St.6__流心	0.10	0.30
全りん(T－P)	(mg/g)	堰直上流St.2__中央	0.47	0.50
		堰直下流St.6__流心	0.45	0.31
硫化物	(mg/g)	堰直上流St.2__中央	0.02	0.00
		堰直下流St.6__流心	0.01	0.01
粒度組成(底質)4.75mm以上	(%)	堰直上流St.2__中央	0.1	0.6
		堰直下流St.6__流心	0	4.3
粒度組成(底質)4.75～2mm	(%)	堰直上流St.2__中央	2.4	4.8
		堰直下流St.6__流心	0	5.3
粒度組成(底質)2～0.425mm	(%)	堰直上流St.2__中央	70.3	62.3
		堰直下流St.6__流心	40.3	45.3
粒度組成(底質)0.425～0.075mm	(%)	堰直上流St.2__中央	18.6	24.2
		堰直下流St.6__流心	54.4	38.2
粒度組成(底質)0.075～0.005mm	(%)	堰直上流St.2__中央	2.4	1.9
		堰直下流St.6__流心	0.4	0.4
粒度組成(底質)0.005mm以下の粘土分	(%)	堰直上流St.2__中央	6.2	6.2
		堰直下流St.6__流心	4.9	6.5

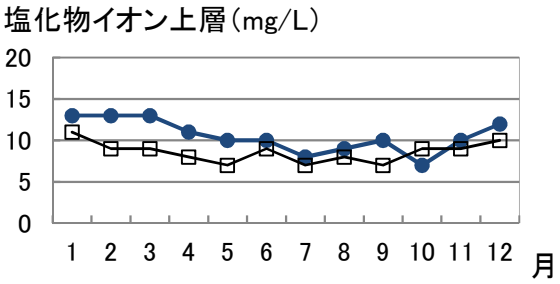
6. 2022年　水質の経月変化

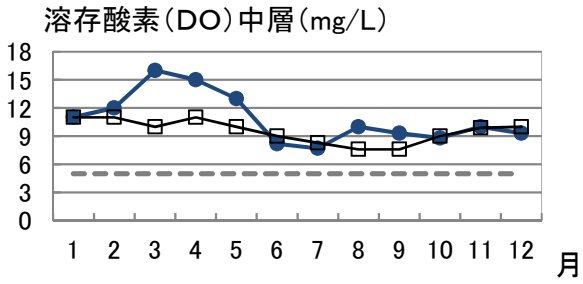
(1)堰直上流St.2__中央 上層

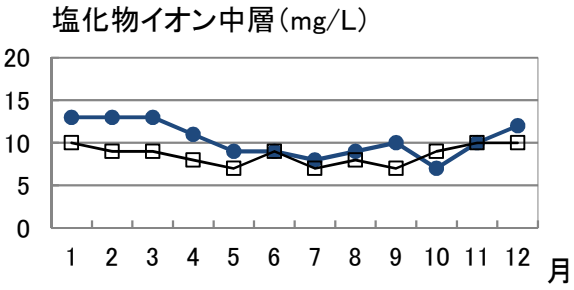


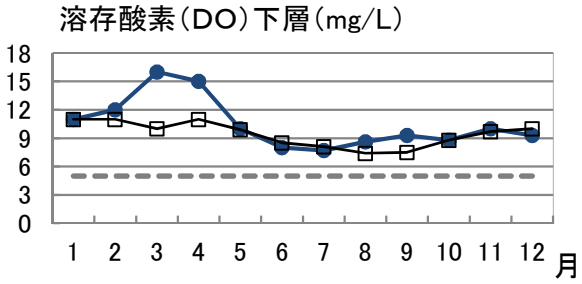
2022年
過去5年平均
環境基準

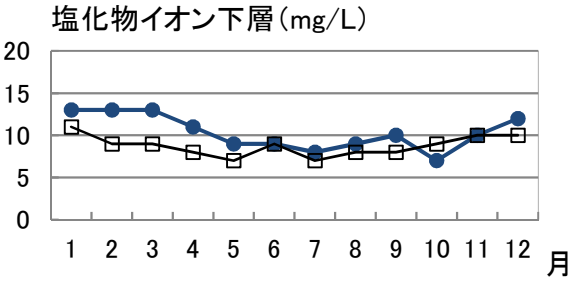

溶存酸素（DO）上層（mg/L）
18
15
12
9
6
3
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
月


塩化物イオン上層（mg/L）
20
15
10
5
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
月

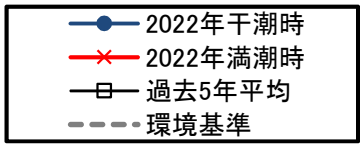

溶存酸素（DO）中層（mg/L）
18
15
12
9
6
3
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
月


塩化物イオン中層（mg/L）
20
15
10
5
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
月

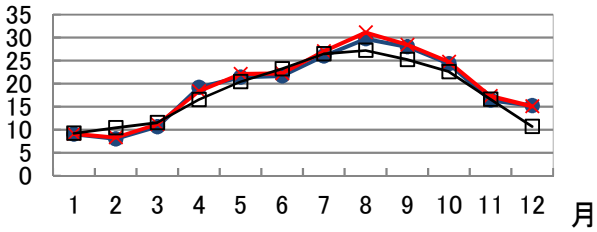

溶存酸素（DO）下層（mg/L）
18
15
12
9
6
3
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
月


塩化物イオン下層（mg/L）
20
15
10
5
0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
月

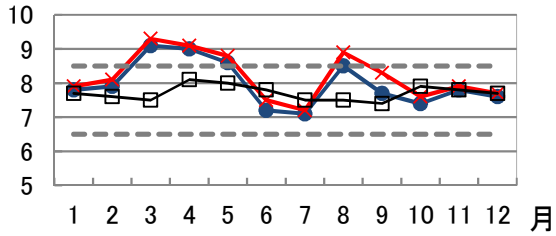
(2)堰直下流St.6__流心 上層



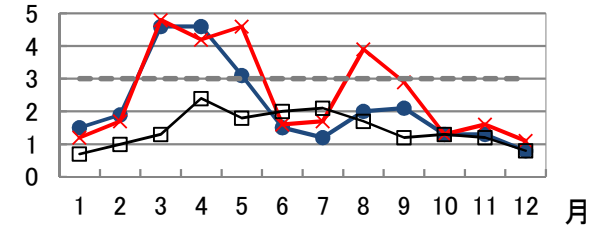
水温(℃)



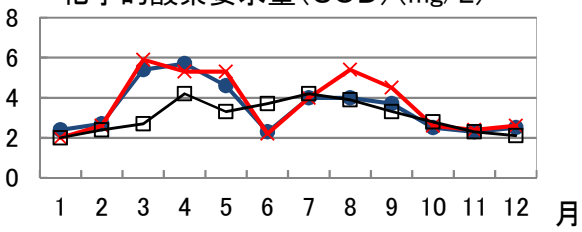
水素イオン濃度(pH)



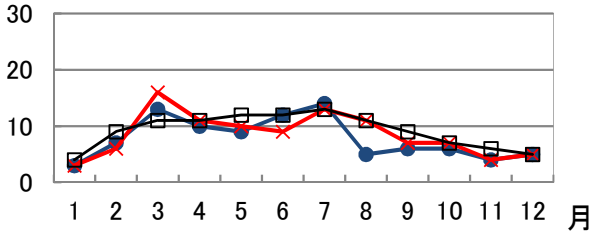
生物化学的酸素要求量(BOD)(mg/L)



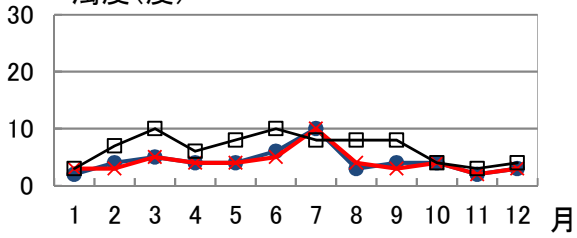
化学的酸素要求量(COD)(mg/L)



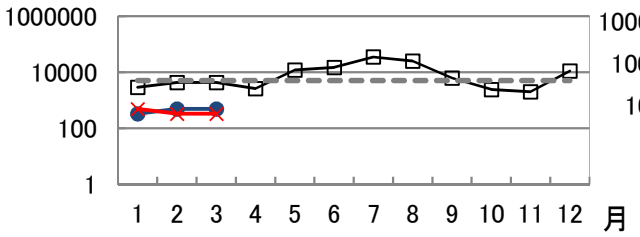
浮遊懸濁物(SS)(mg/L)



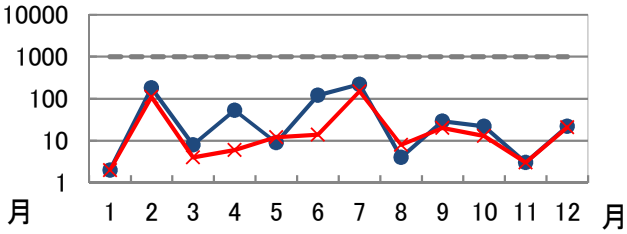
濁度(度)



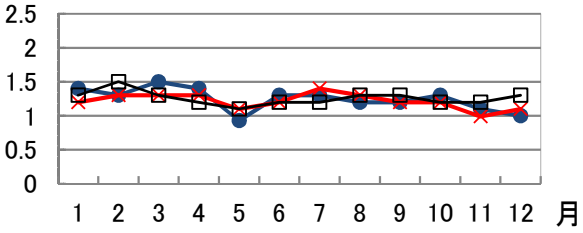
大腸菌群数(MPN/100mL)



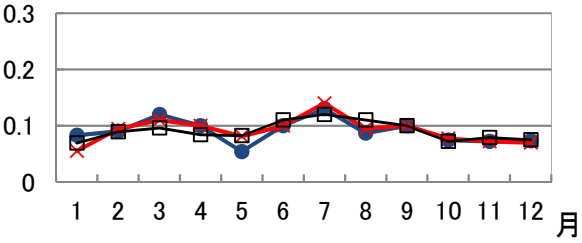
大腸菌数(CFU/100mL)



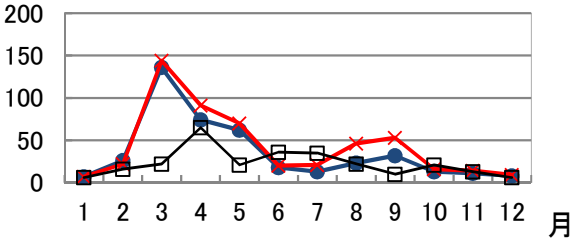
全窒素(T−N)(mg/L)

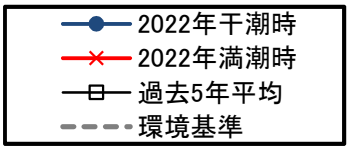


全りん(T−P)(mg/L)

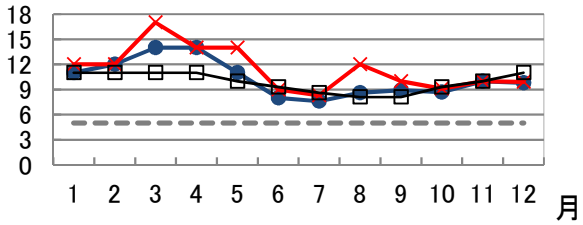


クロロフィルa(μg/L)

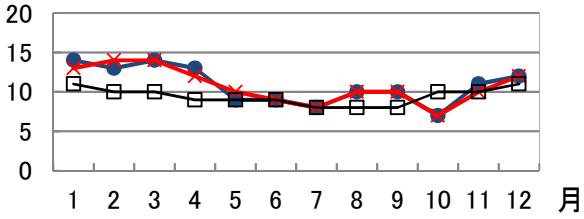




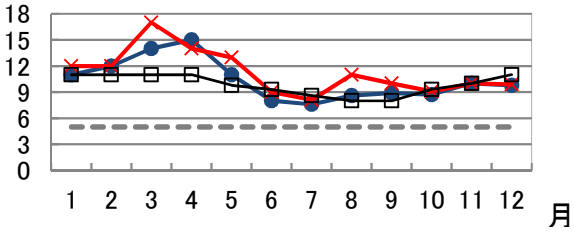
溶存酸素（DO）上層（mg/L）



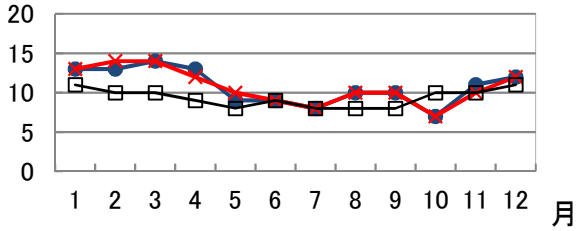
塩化物イオン上層（mg/L）



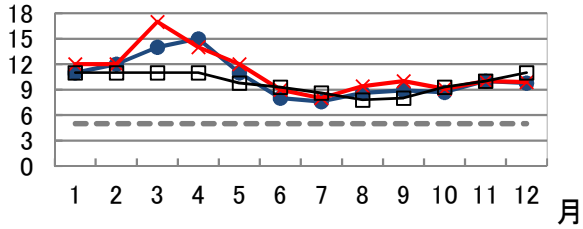
溶存酸素（DO）中層（mg/L）



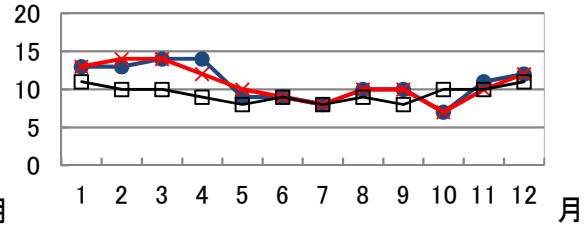
塩化物イオン中層（mg/L）



溶存酸素（DO）下層（mg/L）



塩化物イオン下層（mg/L）

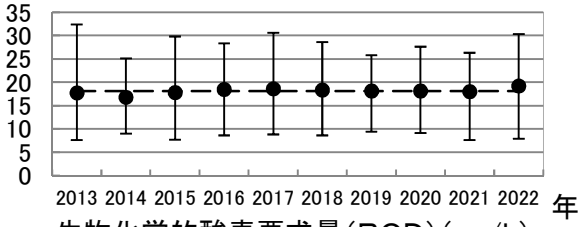


7. 2022年　水質の経年変化

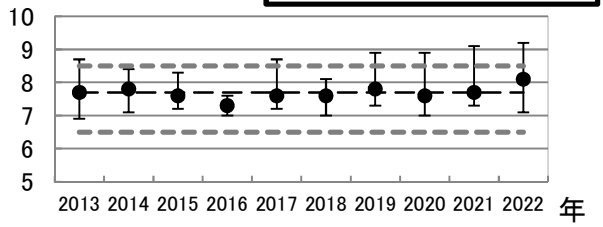
●:年平均値　×:75%,90%値
┬:最大値　┴:最小値
ー ー ー :10年平均
ー ー ー :環境基準

(1)堰直上流St.2__中央 上層

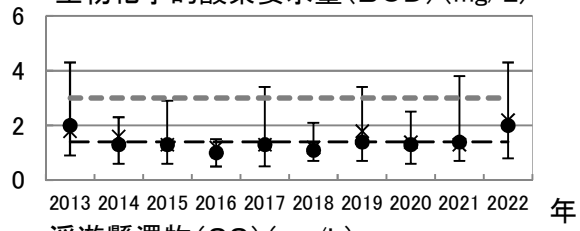
水温(℃)



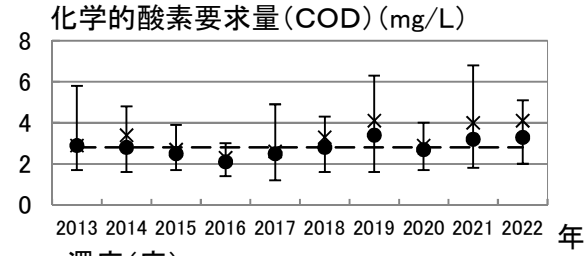
水素イオン濃度(pH)



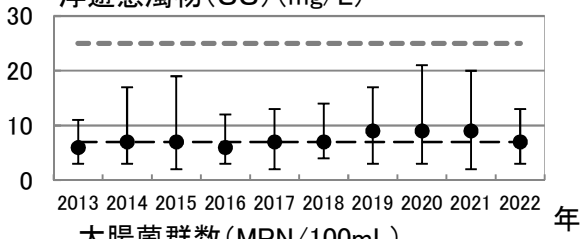
生物化学的酸素要求量(BOD)(mg/L)



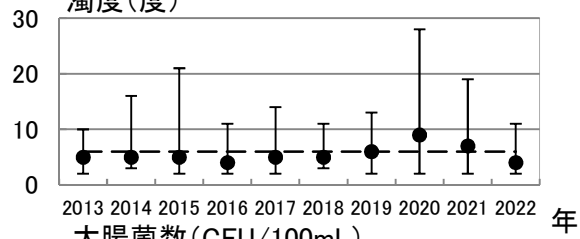
化学的酸素要求量(COD)(mg/L)



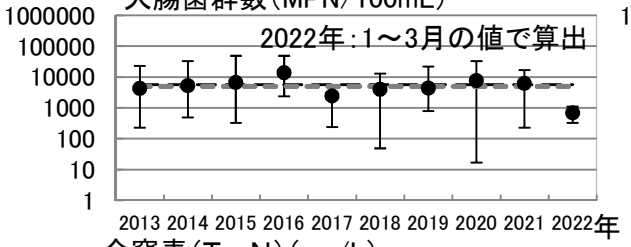
浮遊懸濁物(SS)(mg/L)



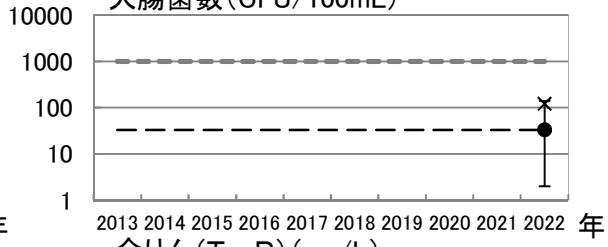
濁度(度)



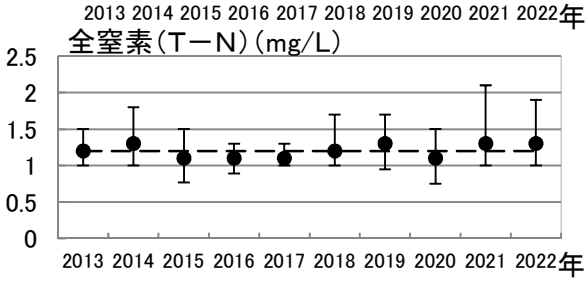
大腸菌群数(MPN/100mL)



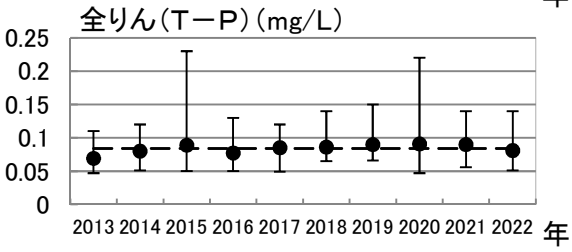
大腸菌数(CFU/100mL)



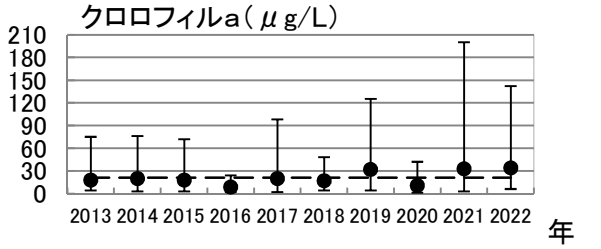
全窒素(T－N)(mg/L)



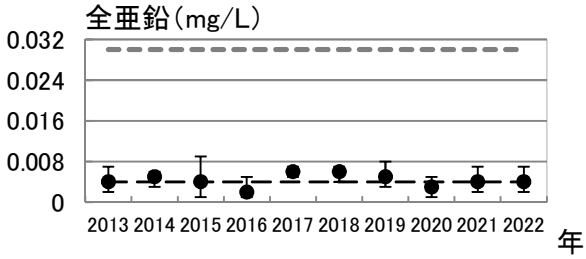
全りん(T－P)(mg/L)



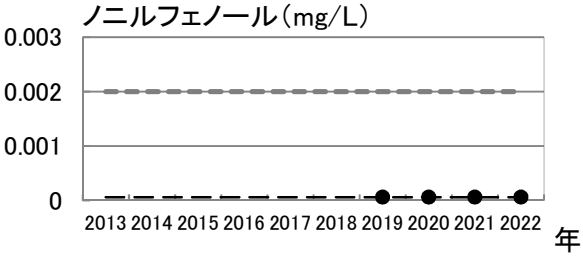
クロロフィルa(μg/L)



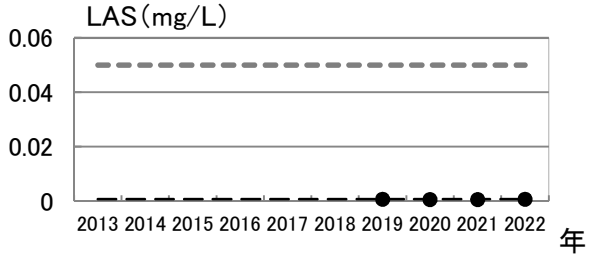
全亜鉛(mg/L)

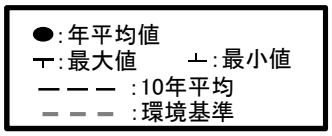


ノニルフェノール(mg/L)

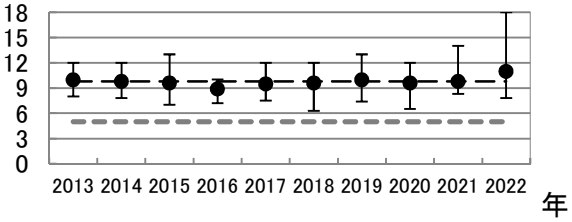


LAS(mg/L)

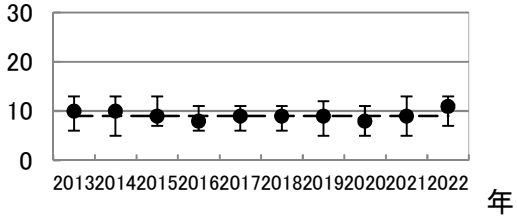




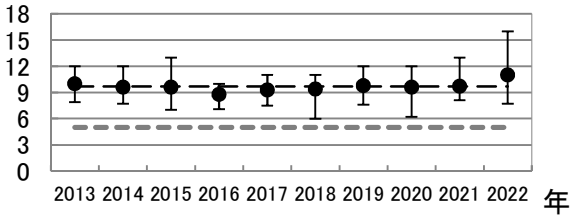
溶存酸素（DO）上層（mg/L）



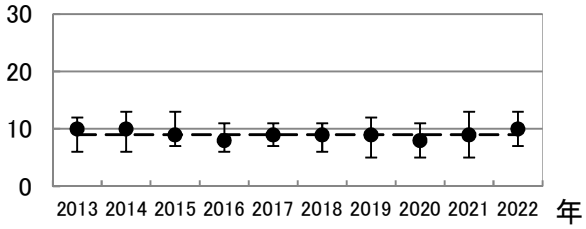
塩化物イオン上層（mg/L）



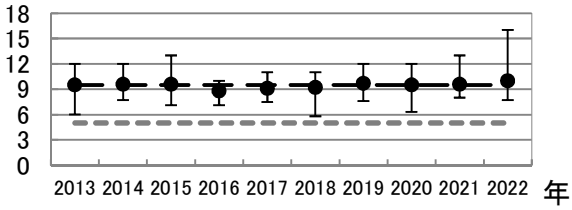
溶存酸素（DO）中層（mg/L）



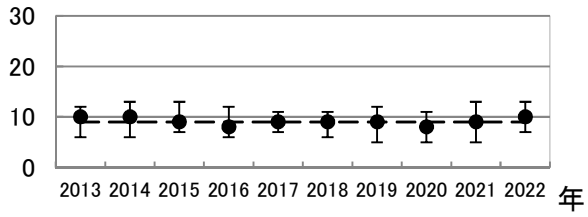
塩化物イオン中層（mg/L）



溶存酸素（DO）下層（mg/L）



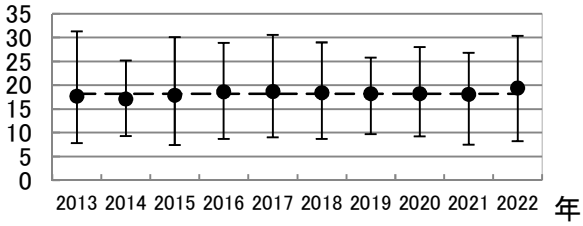
塩化物イオン下層（mg/L）



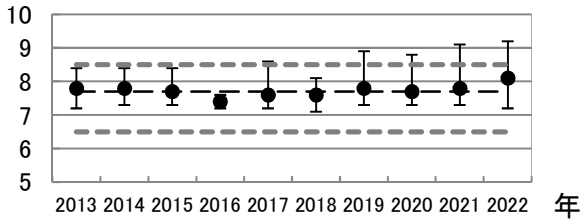
(2)堰直下流St.6__流心 上層

●:年平均値　×:75%,90%値
┬:最大値　┴:最小値
ー ー ー :10年平均
- - - :環境基準

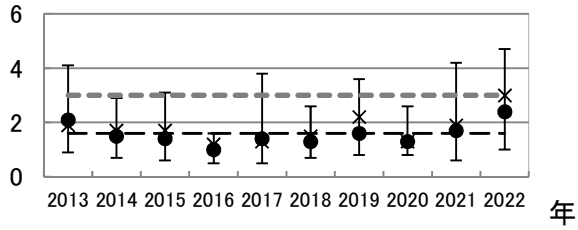
水温(℃)



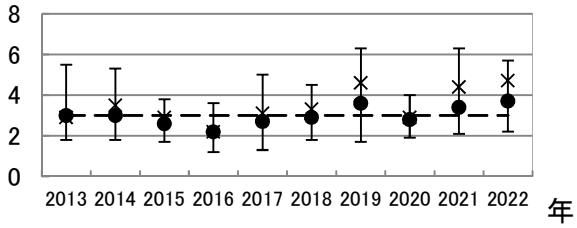
水素イオン濃度(pH)



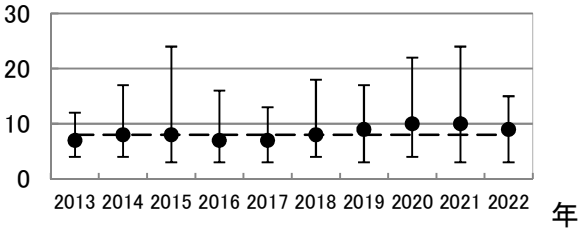
生物化学的酸素要求量(BOD)(mg/L)



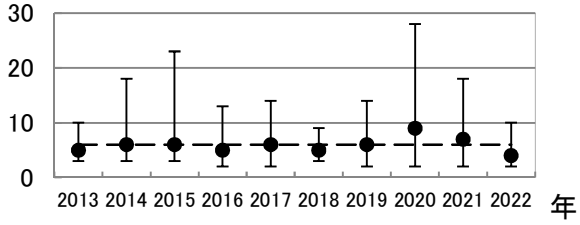
化学的酸素要求量(COD)(mg/L)



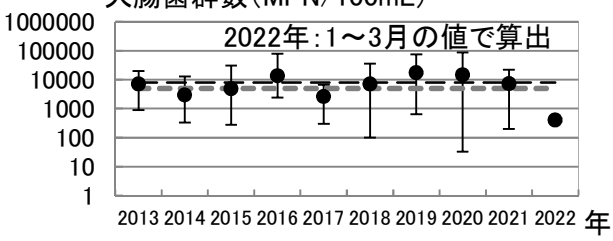
浮遊懸濁物(SS)(mg/L)



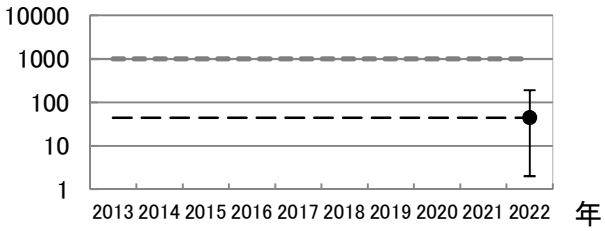
濁度(度)



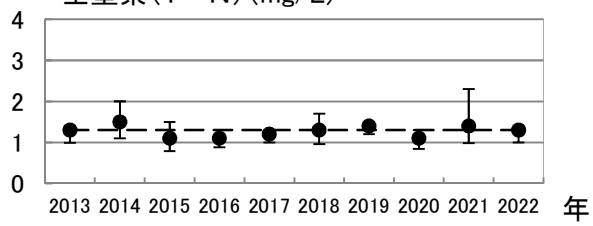
大腸菌群数(MPN/100mL)



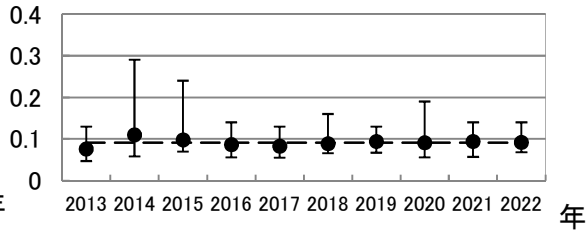
大腸菌数(CFU/100mL)



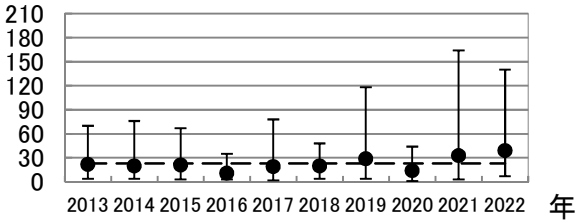
全窒素(T－N)(mg/L)

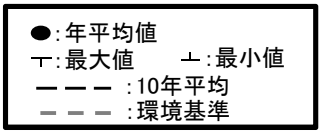


全りん(T－P)(mg/L)

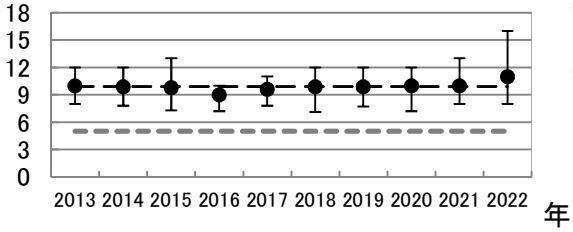


クロロフィルa(μg/L)

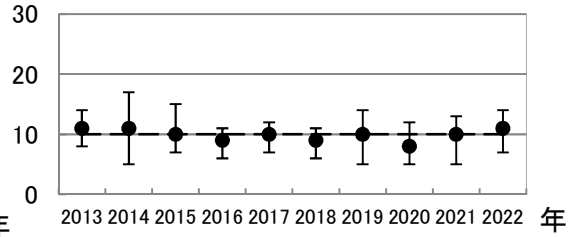




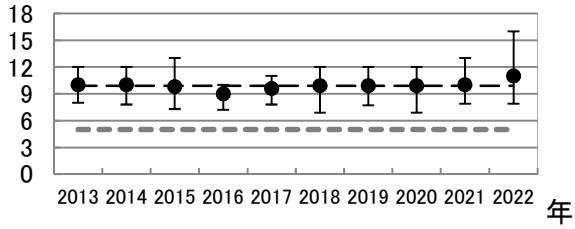
溶存酸素(DO)上層(mg/L)



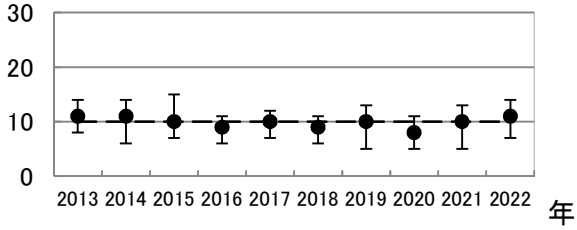
塩化物イオン上層(mg/L)



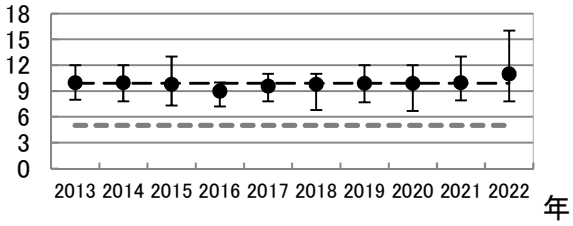
溶存酸素(DO)中層(mg/L)



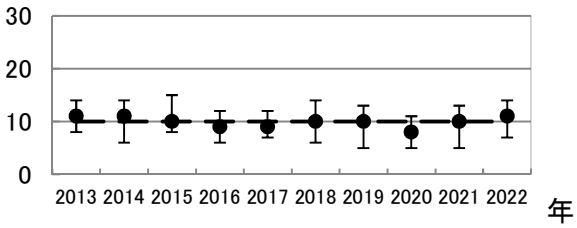
塩化物イオン中層(mg/L)



溶存酸素(DO)下層(mg/L)

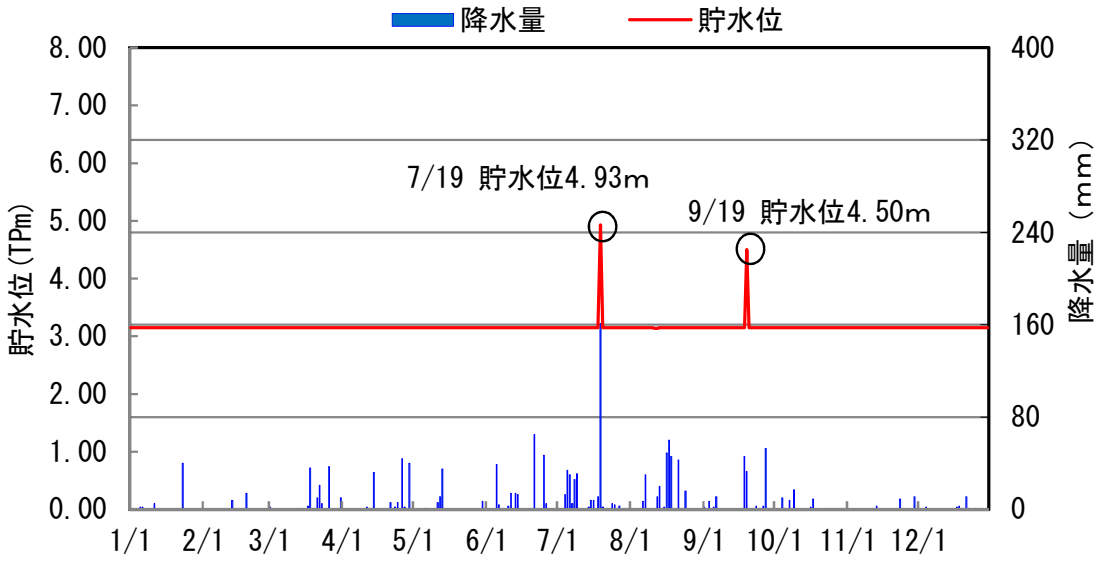


塩化物イオン下層(mg/L)



８．2022年　気象・流況

（１）降水量、貯水位グラフ



※貯水位の数値は出水時における最高水位である。
※降水量は、筑後大堰地点の日累計雨量である。
※○印は出水によるゲート全開操作実施日

（２）気温グラフ

※気温は、筑後大堰地点の日平均気温である。

筑後大堰地点の年間降水量は、1,479㎜で累年平均の1,878㎜より399㎜(21.2%)少なく、最多24時間雨量は7月18～19日の165㎜であった。月別降水量で見ると、2月が22㎜(累年平均78.9㎜)、5月が60㎜(累年平均181.7㎜)、11月が23㎜(累年平均80.7㎜)、12月が21㎜(累年平均51.2㎜) と平年に比べ非常に少なく、8月が285㎜(累年平均236.0㎜)と多い状況であった。年間降雨日数は94日(累年平均111日)で、平年より若干少なかった。

本年の新規利水の補給は、8月に1回実施した。

貯水位は、定水位操作を実施し、出水によるゲートの全開操作は、7月に1回、9月に1回の計2回実施した。

筑後大堰地点の月平均気温は、過去5年平均と比較すると同程度であった。